

# さわかぜ

sanwa chiku-syakyō

発行責任者: 三和地区社会福祉協議会  
会長 福田 隆一  
編集: 三和地区社協 広報部  
事務局: 三和保健福祉センター内  
(サンハート内)  
電話: 0436-37-7100

三和地区  
社会福祉協議会

## 女性リーダーも活躍中!

お母様・お子様方へ癒しの時間と空間を提供いたします



子育てサロン事業

佐藤 ミエ 代表



◇ 7/26・開催された「ほかぽか」の様子 ◇

### 子育てサロン/年間スケジュール

4/26(月)	*皆で楽しく遊びましょう ・鯉のぼりづくり (休止) ・手遊び・絵本
5/24(月)	*ミニ運動会 ・交通安全 (実施済) ・身体測定・紙芝居
6/28(月)	*読書会(本の読み聞かせ) ・七夕飾りを作ります (実施済)
7/26(月)	*読書会(絵本の読み聞かせ) ・救命防災講座 (実施済)
9/27(月)	*エプロンシアター ・感染予防と歯磨き教室
10/25(月)	*ハロウィーン
11/22(月)	*親子体操 & 手遊び ・食育教室 & 食中毒予防
12/20(月)	*クリスマス会 ・人形劇
2/28(月)	*ひな祭り ・絵本読み聞かせ
3/28(月)	*人形劇 ・絵本読み聞かせ

### 子育てサロンの愛称は 三和ぽかぽか

子育てサロン事業/愛称「三和ぽかぽか」は、子育て世代のお母様、お子様を支援する事業として、更には悩みごとの相談もお受けする取り組みをおこなっています。

毎月第四月曜日の十時から十一時三十分の間、十三名のスタッフが交代シフトを組み、左表の年間計画に基づき活動しております。

三和地区社会福祉協議会で、たすけあい支援部を担当しています。二田口と申します。



たすけあい支援部  
二田口 三津子 部長

私たちが取組んでいる事業「たすけあい三和」についてご紹介させて頂きます。この事業は、地域が共にたすけあう共助を目的に、平成二十七年当時、役員だった「御園生光江」さんが苦勞の末、立ち上げた組織事業です。現在では、事業に協力し実働頂く支援員が七十五名、内、女性十六名です。活動を継続しております。また、この制度をご利用頂く利用会員の登録数も百五十七名に達し、今後も更に増加すると思われまます。私たちが暮らすこの三和を、皆さんと共に住みやすい・暮らしやすい・たすけあえる地域にしたいと考えています。

## 共助の事業 『たすけあい三和』

ご利用会員一五〇名を突破!

### 制度のあらましご紹介

「たすけあい三和」の会員構成

- 1) 利用会員→困っていて人手を借りたい人  
(入会金1,000円/1回のみ)
- 2) 支援会員→困っている人に手を貸す人

ご利用の対象となられる方々

- ◇ひとり暮らしの高齢者(65歳以上)
- ◇高齢者のみの世帯◇障害者のみの世帯
- ◇高齢者と障害者のみの世帯

利用料金	(利用会員)
◇ 利用会員の方が作業に支払う料金	
* 始めの1時間まで800円/人	
* 1時間を超えると30分毎に400円/人を加算	
* その他、支援に要する実費が発生する場合の実費	
作業料金	(支援会員)
◇ 支援会員の方が作業した時に受取る手当	
* 始めの1時間まで700円/人	
* 1時間を超えると30分毎に400円/人を加算	



◇ お庭の草刈実作業の結果です! ◇

- 活動の内容
- ◇屋外作業  
庭木の刈込、庭の草取り、草刈等
  - ◇屋内作業  
家具の移動、室内整理、電気器具点検、照明器具等の付替え、話相手等
  - ◇家事援助  
掃除、洗濯、炊事等

たくさんの感謝の言葉をいただいております! ご相談は☎070-5452-8333へご連絡下さい。





たが、防災費に占める消防関連の負担ウェイトが増加、組織運営上の新たな課題として浮上してきました。

一方、組織面の課題では、①町会役員は毎年変わることから、防災意識の継承が難しい  
②消防団員側も大規模災害時は、支団本部の指揮下となり、町会との直接連携は難しい。  
との問題から、その改善策として、自主防災会を専任制とする案が審議に附され可決。

現状は、選任会長の指揮下、左図の組織で運営されています。